

# NPO法人オンザロード 東日本大震災プロジェクト活動報告書

平成 23 年 5 月 1 日～ 5 月 7 日

## 【石巻市基本情報】

□担当地域名：宮城県石巻市渡波地区、女川町周辺

□避難者人数：石巻市 8,776 人／女川町 1997 人

□指定避難所数：石巻市 106 /女川町 17

□全壊家屋数+半壊家屋数：石巻市 28000 /女川町 3067 ※4 月 22 日宮城県調べ

□ライフラインの復旧状況：石巻市内では電気、都市ガスはほぼ復旧、水道に関しては一部復旧しています。女川町では電気、水道が一部復旧、ガスは被害はなし。 ※5 月 9 日宮城県調べ

## ■現在の活動内容：



ゴールデンウィークを向かえ、毎日 100 人規模で、家の中や道路の片付けを行いました。たくさんのボランティアをいかに効率よく、安全に配置し、作業にあてるかが重要な課題でした。

## □各班の活動内容



### ●家の片付け班

- ・ 244 人（内班長 5 人）
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区
- ・ 終了件数：120 件

毎日、班長たちでミーティングを重ね、情報共有をした上で段取りを組んだり、安全面への留意事項を全体で確認したりと、ひとつひとつ丁寧に進めてきました。個人宅からのニーズに対し効率よく取り組むために、事前の下見を行い、被害状況を確認することで安全かつ迅速に大人数での片付け作業が可能となり、120 件の依頼を完了することができました。

今週から個人宅からのニーズに、室内の泥出し、瓦礫出しという緊急性の高いものから、室内から出した庭のゴミ撤去、床下の泥かき、側溝の泥かきなど、次の段階へ変化しました。その変化に柔軟に対応していくため、ほかのNPOとの連携・情報共有は欠かせないものと感じていますし、これまでの道具以外に、側溝のふたをはずす器具や重機のレンタルも必要だと感じています。今後、現地のニーズの変化にスピーディーに対応していくことが課題です。

また、新規ボランティアに対して、マスク着用の徹底など、健康管理面を周知徹底していくことも課題です。



### ●道路の片付け班

- ・ 333 人（内班長 6 人）
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区、石巻市北上町
- ・ 廃棄物回収量：廃棄物 959t、畳 11,950 枚

道路の片付けについては、5 月 1 日～ 5 月 7 日で廃棄物 959t、畳 11,950 枚を集積場に運搬しました。これだけの量を処理できたのは、事前のルート確認やダンプの追加手配など、準備を入念に行った結果だと感じています。そして見違えるほど道路がきれいになり、地元の方から感謝のお手紙をいただいたり、励ましの言葉をかけていただいたりと、良い関係を築くことができました。



また、津波によってたくさんのゴミがお寺に流れ着き、お墓の周辺はお墓参りができないほどの状態でしたが、徹底的に周辺道路を含む敷地の清掃をさせていただいた結果、すぐに地域の方々がお墓参りに来るようになりました。



### ●ニーズ調査・受付班

- ・ 6 人
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区、石巻市北上町、本吉郡南三陸町
- ・ 依頼件数：60 件

ニーズ調査班としては、孤立している方、支援の手が行き届いていない地域がないか、石巻の中心部を離れた場所を広く視察しました。その中で、孤立しているおばあちゃんと出会い、物資の配布ができました。さらに、9 月からワカメ漁の再開を願う地域の方とお話をしたことにより、北上町十三浜で漁港の瓦礫撤去をスタートすることになりました。



### ●屋内消毒活動班

- ・ 2 人
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区
- ・ 実績：2 件

津波により海からの泥、魚介類の死骸など有機物も室内に入っており、泥をかき出した後も消毒液や石灰を利用して、消毒を行う必要があります。特に、避難所や学校など、多くの人が集まる場所は、感染病を防ぐためにも、消毒が必要です。今回、オンザロードボランティアに消毒を専門に行っている方が合流・参加してくれたことで、ボランティア一同、衛生面に関する意識も高まり、具体的な活動として、消毒を行うことができました。



### ●炊き出し班

- ・ 75 人（内班長 2 人）
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区、牡鹿郡女川町

- 1 日 場所：女川第一小学校／提供：170 食／メニュー：和風の豚肉とキャベツの炒め物弁当、仙台味噌を使った味噌汁
- 2 日 場所：女川第一小学校／提供：160 食／メニュー：焼き鳥丼、かぼちゃの味噌汁
- 3 日 場所：女川原子力発電所体育館／提供：130 食／メニュー：焼き鳥丼、かぼちゃの味噌汁、チョコスナック  
場所：宮ヶ崎／提供：160 食／メニュー：ほうれん草のお浸し、めった汁、ご飯  
場所：石巻市寄磯小学校／提供：120 食／メニュー：ほうれん草のお浸し、めった汁、ご飯
- 4 日 場所：女川原子力発電所体育館／提供：125 食／メニュー：肉じゃが弁当、煮物、しいたけ汁  
場所：石巻市寄磯小学校／提供：120 食／メニュー：アジの干物、煮物、ご飯  
場所：女川第一小学校／提供：144 食／メニュー：サバの竜田揚げ、煮物、ポテトフライ、ほうれん草のお浸し、キウイ
- 5 日 場所：女川原子力発電所体育館／提供：130 食／メニュー：ハンバーグ弁当  
場所：石巻市寄磯小学校／提供：130 食／メニュー：カレー  
場所：女川第一小学校／提供：133 食／メニュー：カレー、パイナップル
- 6 日 場所：女川第一小学校／提供：120 食／メニュー：肉うどん、オレンジ
- 7 日 場所：女川第一小学校／提供：125 食／メニュー：焼きそば弁当、中華スープ



炊き出しチームは、現地の方の希望も取り入れ、栄養面も考慮してメニューを決めています。炊き出しを重ねることにより、食事の提供という面だけではなく、人と





人との交流も生まれています。おばあちゃんがオンザロードや各班員を覚えてくれたり、毎日、離島にわたって作業をしている方々が、オンザロードの炊き出しを食べるために仕事を止めて戻ってきてくれたりと、避難所生活の中のひとつの楽しみとして、利用していただいています。

行政による配給では、あたたかいものが食べられない現状なので、特に汁物や、新鮮な野菜・フルーツなどが喜ばれています。

今後、炊き出しを提供するだけでなく、被災地の方々が自分たちで炊き出しをできるように、一緒に作る状況や、炊き出しの調理器具などを支援物資として届ける活動も必要だと感じます。

そのためには、よりたくさんの大型調理器具が必要です。



### ●救援物資の配布班

- ・ 30人（内班長2人）＊炊き出し班と兼任
- ・ 担当地区：牡鹿郡女川町
- ・ 品目：葉山の夏みかん2箱、クロックス4足、長靴、文具、金柑10kg、キウイ20kg、キウイフルーツ150個、金柑4箱、野菜ジュース125本、こども用お菓子、レッドブル



### ●避難所介助班

- ・ 26人（内班長 ●人）
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区
- ・ 仮設風呂 利用者数：181人
- ・ マッサージ 利用者数：32人
- ・ ヘアカット 利用者数：20人

避難所生活の中で、今も緊張感が続いています。4月と比べて入浴やヘアカット、マッサージといった、精神的な安定につながる活動の必要性が、高くなってきています。

仮設風呂のある渡波保育所では、お湯を沸かす作業、入浴の告知作業に加え、囲炉裏で簡易的なおやつを作りつまんでいただくなど、細かな気配りも大切にしています。

今回、告知にも力を入れて、街を歩きながら「お風呂に入れまーす」と呼びかけを行ったところ、初めて仮設風呂の利用をされた方もいらっしゃいました。

また、地元美容室も徐々に営業再開しているので、まだ美容室がない地域に対してのヘアカットの出張ボランティアが必要であり、そういった状況把握も今後の課題です。



### ●生活班

- ・ 41人（内班長1人）
- ・ ビレッジ内部担当

最大で200名を超えるボランティアが滞在したゴールデンウィーク期間中。被災地で活動するメンバーが、拠点であるビレッジに帰ってきて、いかにリラックスできるか、いかに疲れを癒して、また活動に取り組めるか、そういった思いをもって、生活班は縁の下の力持ち的な仕事をしています。

たくさんの方が生活するとなると、生活ルールを徹底してお知らせしなくてはなりません。そして必要に応じて改善する必要があります。洗濯や食事など、スムーズかつ、快適に過ごせるように話し合いを持ち、日々改善してきました。



### ■活動予定内容：

今後も引き続き、現地で展開している活動は継続致します。また、これから「遠征隊」として岩手県沿岸部に赴き、ニーズの調査をしつつ泥・瓦礫の撤去を開始致します。渡波地区での作業にはまだまだ目処が立つまで相当な時間がかかります。今やっていることを継続しつつ、岩手県への遠征や石巻での新たなニーズに対する行動を続けてまいります。

### ■課題、ミッション：

ゴールデンウィークで増加するボランティアを最大限に活用する為に非常に多くの車両・重機のレンタルを行いました。その結果として廃棄物約 2000t、畳約 1 万 2000 枚を集積場に運ぶことが出来ました。今後も有料のレンタル重機で作業を展開していきます。無料での重機、オペレーターのご協力を必要としています。また、重機レンタル代への支援金でのサポートを何卒お願い致します。